

病院と地域のつながりを深めよう

広島大学病院 在宅緩和ケア事業研修会

■ テーマ

『看取りに向けての医療と地域の連携』

司会・進行 広島大学病院 緩和ケア部門 倉田明子 医師

基調講演 演者：「緩和医療学の進歩と地域連携」
社会医療法人 清風会 廿日市記念病院
緩和ケア病棟施設長 小原 弘之 医師

グループワーク 講師：「地域完結型の看取りを推進するために効果的な医療提
供・連携体制について考える」
Y M C A 訪問看護ステーション・ピース
所長 濱本 千春 訪問看護師

総括 医療法人 秋本クリニック 院長 秋本 悦志 医師

がん患者をはじめとする終末期の看取りに向けた療養について、拠点病院の入院と在宅診療、緩和ケア病棟と在宅診療を行き来しながら療養を進めていく患者さんも増えており、互いの医療・ケアの内容を知って連携する必要があります。本研修では、終末期の症状緩和やケアについて、エキスパートの先生方の講演とともにグループワークを行い、知識の向上と、連携スキルの獲得を目的としています。皆様奮ってご参加ください。

■開催日時 2024年1月27日（土）15：00～16：30(建物解錠14：30)

■開催場所 広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室

■対象者 がん診療に携わる医師・看護師・薬剤師など医療従事者

■申込方法



QRコードを読み取り、
申込フォームに入力後送信してください

■申込締切日 2024年1月12日（金）17：00 ※本研修会は必ず申込みが必要です

お問い合わせ：広島大学病院医療支援グループ ☎082-257-5934

■定員 35名（定員になり次第締め切らせていただきます）

《主催》広島大学病院（都道府県がん診療連携拠点病院）
《共催》中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム／広島大学次世代のがんプロフェSSIONAL養成プラン